

# よしかわ

No. 148

# 議会だより

平成22年11月臨時会・12月定例会



おめでとう! 平成23年 成人式

## 主な内容

- ② 子ども医療費中学卒業まで無料に!
- ③ 通学路の整備を! 【みなさまの請願から】
- ④ ~ ⑦ 答えて市長! 一般質問
- ⑧ ~ ⑨ 常任委員会の活動
- ⑩ 審議結果・編集後記

# 平成22年 第6回定例会

## 子ども医療費 中学卒業まで無料に!

今定例会は、12月2日から16日までの会期で開催され、市長提出議案13件、請願3件、議員提出議案4件が上程されました。



屋内温水プール

### 市長提出議案

#### 子ども医療費

H23年7月から無料に

通院に係る子ども医療費の支給対象児童の年齢を平成23年7月1日から15歳に達する日以後の最初の3月31日に達する日まで拡大するものです。

#### 温水プールロッカー使用料

H23年4月から無料に

### 人事案件

#### 公平委員会委員

齊藤 正雄氏（再任）



### 議員提出議案

#### 意見書

次の4件を可決し、内閣総理大臣等へ提出しました。

70～74歳の医療費窓口1割負担を2割へ引き上げる厚労省方針の撤回を求める意見書

住宅リフォーム助成制度に国の支援を求める意見書

尖閣諸島をはじめとする我が国の領土領海を守る措置を求める意見書

※ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）総合対策を求める意見書

※成人T細胞白血病ウイルス白血球の一種であるリンパ球に感染するウイルス。HTLV-1は、成人T細胞白血病（ATL）やせき髄疾患（HAM）の原因となる。

### 一般会計補正予算（第2号）

#### 主な事業

- 生活保護事業  
対象者の増加…………… 204,514千円
- 自立支援給付事業  
訪問介護等利用者の増加……………46,658千円
- 学校施設整備事業（小学校）  
（仮）美南小の実施設計委託 △16,137千円

みなさまの請願から

**ヒブワクチンと肺炎球菌  
7価ワクチン接種の公費  
助成を求める請願〈採択〉**

請願者 新日本婦人の会  
吉川支部 塩沼ひとみ  
紹介議員 小林昭子・稲垣茂行

請願の要旨は、「ヒブワクチンは細菌性髄膜炎だけでなく、死亡率が高い重症のヒブ感染症から子ども達を守ってくれる画期的なワクチンであり世界保健機構(WHO)は全ての国々に対して乳幼児の接種を推奨している。日本では任意接種のため費用が高く負担が大きい。公費による定期接種を求める」としています。

委員会では、「財源をしっかりと確保しながら実現していきたい」「健康管理も確実にし間違ったワクチン接種を」「今国会補正予算で助成する事が決まった。その流れを進め早期に助成制度を作っていく。」などの意見が出されました。

**通学道路の整備に  
関する請願〈採択〉**

請願者 関自治会・川富自治会・川野自治会各会長  
紹介議員 高野昇・山崎勝他

市道2-412号線は、関小学校への通学路として利用されており、車1台分の幅員(3.09m)で、車両が通行すると子どもたちが歩いていたら危険な状態となります。更に農繁期には農用車も子どもたちの登下校時に通行せざるを得ない時もあり農家の皆さんも注意しながらの農作業となっております。

つきましては、通学時の児童及び利用者の安全確保のために、道路面を舗装整備するとともに道路沿いの用水路に蓋掛けのU字溝を布設し、歩行者と車両が安全に通行できるように整備していただきたくお願いいたします。



**「消費税の税率引き上げ  
反対」を求める意見書  
の提出を求める請願  
〈不採択〉**

請願者 埼玉土建一般労働組合吉川松伏支部支部長  
紹介議員 佐藤清治・高野昇

消費税が10%になれば、世帯平均16万円もの負担増となります。

消費税は大金持ちには負担が軽く、所得の低い人ほど負担の重い最悪の逆進的な税制であり「暮らし破壊税」です。

菅内閣は消費税増税と法人税減税をセットで提案し、財界は法人税の15%引き下げを求めています。

これでは消費税増税分は法人税の減税に使われてしまい財政の再建にも社会保障の財源にもならず庶民の家計を壊し、消費を冷やし、景気をますます悪化させることとなります。

したがって、国および関係機関に消費税の税率を引き上げないよう意見書の提出をしていただくよう請願します。

平成22年第5回  
(11月) 臨時会

平成22年11月29日に臨時会が開催され、市長から職員・市3役の給料月額及び期末勤勉手当(市3役は期末手当)の額の減額が提案され、賛成多数により可決されました。

また、議会運営委員会から議員の期末手当の額の減額が提案され、全会一致で可決されました。

現行 4・15月分  
改正 3・95月分



市道2-412号線

平成23年第1回 (3月) 定例会の予定	○3月1日(火) 開会・施政方針演説
	○3月2日(水) 本会議(代表質問)
	○3月4日(金) 本会議(議案審議)
	○3月7日(月) 本会議(議案審議)
	○3月9日(水) 委員会
	○3月10日(木) 委員会
	○3月11日(金) 委員会
	○3月14日(月) 委員会
	○3月16日(水) 本会議(委員長報告)
	○3月17日(木) 本会議(一般質問)
	○3月18日(金) 本会議(一般質問)
	○3月22日(火) 本会議(一般質問)・ 閉会

# 答えて市長!

## 一般質問

一般質問は12月14日・15日・16日に行われ、11人の議員が活発な論戦を展開しました。紙面の都合により、質問・答弁ともに質問者が要約しています。詳細な内容は会議録をご覧ください。会議録は市立図書館等でも閲覧することができます。

なお、本会議の会議録はホームページからご覧いただくこともできます。ただし、最新の会議録の提供までには3カ月程度かかります。

市長4期目の挑戦にあたり  
「まちづくり」の考え方は

稲垣 茂行

(問) 今後、どのような「まちづくり」を目指すのか。また、3期12年を振り返って。

(答)市長 市長就任以来、「市民が主役」の都市構想を掲げ市民と行政が互いの責任と役割を理解、尊重しながら「協働」のまちづくりを実施してきた。

これらの実現を図るため、市民参画条例の制定、ISO9001の認証取得をはじめ協働のシステムづくりを進めた。また、防犯活動ステーション設置や小中学校の耐震化・大規模改修、そして行財政改革を進め、着実に成果を上げてきた。治水対策としては、中央土地区画内の第一調整池を整備、新しいまちづくりに向けた吉川美南駅も、結果が見えるところまで来た。

一方、産業基盤整備を目指した東埼玉テクノポリス拡張や、体育館の改修・耐震化、駅南整備が今後の課題となった。

人口減少社会の中、次世代

を育み、吉川が活気に溢れた安全で快適な町であり続けるよう、まちづくりを進めて行きたい。

第5次総合振興計画策定にあたっては、第4次総振の検証を行うとともに、社会潮流や行政課題をふまえて進めたい。

市民が実感できる、「住み良さ」「暮らしやすさ」がポイントと考え、引き続き行財政改革に取り組み、最良のサービス提供を図っていかねればならないと考えている。

### ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン接種に市助成制度を

小林 昭子

(問) 市は来年度から子宮頸がんワクチン接種の助成制度を実施するとしているが、今国会で、ワクチン接種の公費助成をヒブ、肺炎球菌ワクチンへと拡大し補正予算が組まれた。今市議会には、ワクチン接種を求める請願が出され、全員一致で採択された。市においても、子宮頸がんワクチンに加え、ヒブ、肺炎球菌ワクチンの市助成制度を。

(答)市長 平成23年度当初予算措置を予定している。実施に向け医師会との調整など準備を進めている。

### ◆埼玉型ほ場整備事業

(問) 今年度吉川市が指定されたが、事業内容と市の見解を。

(答)市長 事業負担は、国50%、県27・5%、地元22・5%、市10%、地権者12・5%で、地域の諸条件を検討し決定)生産調整の条件は無い。対象となる20ヘクタール以上の地区を2年間で診断しその後十分な検討を行う。高齢化や後継者不足が懸念される中、生産性の向上や優良農地の確保が考えられる。

### ◆障がい児の移動支援確保を

(問) 障がい児の通学、通院時の支援は切実です。近隣市では、特別支援学校からリハビリ通院の移動支援がされている。吉川市でも行ってほしい。

(答)健康福祉部長 通学は介護者の病気・冠婚葬祭などの時には利用できる。近隣自治体の事例は研究していく。

### 住宅リフォーム助成 制度創設を

佐藤 清治

(問) 地域経済活性化のために急がれる事業である。実施を。

(答) 市民生活部長 現在、実施する考えはございません。

(問) リフォーム助成の問題についても調査してみようというところで受け止めてよいか。

(答) 市長 全般にわたって調査してみたい。

要請をさせていただきたい。

### 駅南UR土地区画整理内の 住民要望実現を

(問) 調整池のまわりの歩道に安全柵の設置を。

(答) 都市建設部長 平成22年度中に設置していただく。

(問) 駅南消防署近くの交差点は大変危険、信号機設置を。

(答) 市民生活部長 早期設置を警察に要望する。

(問) 街灯・防犯灯増設を。

(答) 市民生活部長 平成23年3月末までにURが53基の防犯灯を設置すると伺っている。

### 保育士の経験を蓄積でき 生かせる保育行政を

高野 昇

(問) 子どもを安心して生み育てられる社会のためには、認可保育所の建設などともに保育の質を高め、子育てできる環境が必要。保育の質の向上のためには保育士の経験の蓄積が決定的に重要だが市の考えはどうか。また保育士の処遇について、現状では公立保育所と民間保育園では大きな違いがあり、民間保育園へ

の支援の抜本的改善が必要。

(答) 市長 保育の質を高めるためには、保育士経験の蓄積も必要だが、日々の保育のなかで状況に応じた判断をしていくことが重要。保育士の処遇については、全ての条件が同一ではないため公立保育所と民間認可保育園を一概に比較することは困難。

### 子育て「新システム」とは

(問) 政府が法案提出めざすとしているが市の考えは。

(答) 市長 単に待機児童対策に留まらない議論を望みます。

### 図書館レファレンスを旺盛に

(問) レファレンス(問合せ、相談活動)をもっと広報・啓蒙するとともに、各小中学校に専任の司書教諭の配置を。

(答) 教育長 レファレンスも重要なサービスのひとつであり図書館司書など職員体制を強化し、レファレンスサービスを充実させてきている。今後活用方法について広く周知していきます。学校の司書教諭の専任については、学校関係の中から専任化の話も出ているので県に要望しています。

### 吉川橋の架け替えは既存橋を 活用する二段階方式で

齋藤 詔治

(問) 仮設橋を造らない工事は、市民生活に多大な影響が、既存橋隣に二車線を開通後、既存橋を取り壊して二車線橋を増設し、四車線橋の完成へ。

(答) 都市建設部長 仮設橋の必要性は十分認識、県では難しいと考えている。



吉川橋

(答) 市長 二面三線駅舎であり、始発着機能はありとJRからは聞いている、今後JRに要望してまいります。

### 越谷吉川線都市計画道路の 部分開通を

(問) 平成23年、元ナンシン(株)工場跡地に新たな店舗が予定、周辺の交通混雑が予想されます。

(答) 都市建設部長 道路の開通により交通量が分散され、混雑解消早急に部分開通ができるよう、土地区画整理組合に働きかけてまいります。

### 365日水が使えるほ場の 整備を

(問) 埼玉型ほ場整備が県農林部と吉川市で検討されている。この機会に安心安全なほ場を造り、農業の持つ多様性を生かした街づくりを進めては。

(答) 市長 年間を通して用水路に水を確保する事は、大変難しいが、環境保全型農業は今後一層重要、環境保全向上に繋がる方策を研究してまいります。

### 吉川美南駅発着II東京駅・ 府中本町駅の実現へ

(問) 新駅は、市民が安心して利用できるよう、始発着駅に。

市民への理解と普及啓発で  
うつ病・自殺予防対策の充実を

互 金次郎

(問) 国民病とも言われるうつ病は、有病者数が約250万人と推測されています。また、うつ病は、自殺の大きな要因でもあり、その対策の充実は重要な行政課題です。うつ病・自殺予防対策の充実を。

(答)市長 平成23年度に、県補助金を活用しリーフレットを作成し、うつ病などの精神疾患の理解や自殺予防策の周知を図ります。相談支援事業も関係機関と連携を図り充実に努めます。

(答)健康福祉部長 市のホームページに命の尊さの啓発や相談場所、またチェックリストも検討し出来るだけ早急に掲載します。

◆保育所や幼稚園から小学校  
へのより円滑な就学を

(問) 小学校に入学した児童が環境の変化に対応できず、授業中に歩き回ったり、先生の話を聞かないなど「小1プロブレム」現象が問題となっておりますが当市の取り組みは。

(答)教育長 市でも学習環境の変化に戸惑い教師の話を開けず騒いだり、教室内を歩きまわるなど授業が成立しにくい学級もあります。平成22年度は、小学校3校に非常勤講師を配置し落ち着いて学習ができるよう個別支援しています。また、少人数学級での指導、保護者へは家庭教育の重要性などの啓発、また、保幼小連絡協議会では発達障害早期支援のための研修などを通して子どもへの接し方を学び教員の資質の向上を図っています。

女性の社会的参画加速のために  
積極的な改善措置の推進を

五十嵐 恵千子

(問) 国の男女共同参画社会基本法が制定され今年で11年目。①当市の形成状況と問題点は。②女性の社会参画加速を戦略的に推進するポイントは何か。

(答)市長 ①審議会・委員会・市職員等における採用率は県平均を上回っているが、審議会・委員会等への女性登用率は当市の目標を下回り今後の課題である。

(答)市民生活部長 ②当市の計

画で特に進んだ点は「市民と行政の協働体制を充実・強化する」、「男女の平等感」、人権・男女平等教育の推進施策である「児童・女性に対する暴力の根絶」に力を入れ、県内では唯一の「吉川市配偶者暴力相談支援センター」を開設し、切れ目ない支援を行っている。計画の策定作業により見えてきた課題の一つ「男女ともにワーク・ライフ・バランスの見直しを図ること、社会全体での取り組み」を市民団体と協働で様々な形の啓発を行う。

◆ペットと共生できる環境を

(問) 国では年間、犬・猫28万匹が殺処分されている。当市の現状と、殺処分減少に向けた動物愛護推進委員の推進を。

(答)市民生活部長 昨年は37匹が殺処分で、減少傾向である。動物愛護委員制度をPRする。

◆「お弁当の日」の実施を

(問) 認識と提案への見解は。

(答)教育長 効果等を検討。

「学校応援団づくり」  
のさらなる充実を

小野 潔

(問) 学校教育において今後、地域の方々からの支援、協力が重要な位置付けとなっております。当市の「学校応援団づくり」の現状と課題、今後の推進計画について伺います。

(答)教育長 学校応援団は小学校7校中6校、中学校3校中1校で出来ております。出ていないところは現在コーディネートが見つかからないため、今後さらなる推進をします。



校庭の芝生(境港市)

◆中小学校の校庭芝生化を

(問) 公明党吉川市議団では11月に鳥取県の境港市に「公立小中学校の校庭の芝生化について」視察をして参りました。「生きいき集団で屋外で遊ぶ様になった」「長期欠席者が減少した」「地球温暖化に効果」などがあります。当市においても芝生化を。

(答)教育長 杉並区の荻窪小などを視察し調査・研究をしましたが維持管理などの課題があるため引き続き研究します。

◆武操跡地及び周辺地域整備

(問) 公明党のかねてよりの構想を取り入れて頂き「森の駅構想」「芸術・文化」「環境共生」のまちづくりを目指されています、具体的にどの様に構築していかれるのか。

(答)都市建設部長 美南駅改札正面に人間国宝室瀬氏による吉川の木「モクセイ」をイメージしたモニユメントを設置。周辺5カ所の公園などにモニユメントを、駅前広場に芸術文化に使用できるステージを設置、調整池は壁面を緑化。

## 高齢者や障がいを持つ方への 交通手段の確保を

遠藤 義法

(問) 市民とバス事業者などで公共交通を話し合う場をつくり、今後の市内交通網の整備や交通過疎地域への交通手段の確保をぜひ実現していただきたい。全国の自治体で実施している乗合タクシーの実施なども検討すべきではないか。また、吉川美南駅への路線バスの新設については。

(答)市長 平成23年度に交通実態調査を実施して、市民意向を把握して路線バスを基幹とした交通ネットワークを構築していく方向です。すすめているので、交通会議などの協議会を設ける考えはない。平成24年春の吉川新駅開業を見据えた路線の新設をバス事業者と調整していく。

(答)政策室長 乗合タクシーなどは、様々な対応をして最終的な選択肢になる。新駅の東側への路線は、吉川高校前から新駅へと考えてきたが、橋の重量制限があり、難しい実状である。

## ◆来年度予算編成の考え方は

(問) 市の来年度予算編成にあたり、市長の重点施策は何か。職員に対して新年度事業の基本的な市長の考えをどのように示したのか。

(答)市長 吉川美南駅の建設や新設小学校建設、子ども医療費の対象年齢の拡大など吉川の発展や市民生活向上に向けた事業を重点的に推進していく。職員に対しては、事業の必要性の検証、施策を厳選する一方、国・県の支出金の活用を図るよう指示している。

## 受注企業や自治会長は 選挙活動自粛を

伊藤 正勝

(問) 市政の展開は公約・明示とともに選挙への取り組みに集約して現れる。受注企業や自治会長が特定候補の後援会幹部になって表立った活動をすることはおかしい。そのようなことはないと考えてよいか。

(答)市長 以前にも答弁したが私は公選法に基づいて取り組んでおり、やましいことは一切ない。一定の制約、決まり

を守る中で運動を進めていくつもりだ。

(問) 現職は予算、答弁、長期計画策定など極めて有利な立場で戦える。そのことを自覚し、「区長制度」的風土を変え後援会の在り方に思いを巡らし、公開討論会にも積極的に臨んでほしい。

(答)市長 後援会は私のまちづくりに賛同している方々が会員。市政運営にあたっては会員であるなしにかかわらず平等に対応している。公開討論会などオープンな意見交換については機会があれば十分話し合い理解を求めていきたい。

(問) 長期にわたるとマンネリ、惰性、時に腐敗が避けられないと言われる。これは選挙結果を見た上で問うべきかもしれないが、人事刷新を含め風通しをどう考えるのか。

(答)市長 1期4年。初心を忘れず、まちづくりへの熱い思い、謙虚さを心掛けていく。時代の流れをとらえる気力が失われるのであれば、託し去る時だと考える。特別職人事については今後も真摯(しんしん)に考え、議会に提案し理解を得ていくつもりだ。

## 第4次総合振興計画の 総括

安田 真也

(問) 全体の総括は。

(答)市長 平成14年度を初年度とする10年計画として「ひとに優しさ まちに安らぎ 未来に夢ある みんなのよしかわ 市民主役の都市構想」を将来像に、市政運営の総合的な指針として役割を果たしてきた。平成19年度からの後期基本計画の主な取り組みは、保第2公園に防犯活動ステーションを開設し、小中学校の校舎は耐震・大規模改修を完了した。また、乳幼児医療費の窓口払いの廃止、子ども医療費の就学児への対象拡大、妊婦無料健診の2回から14回への増加を行ってきた。今後の課題として学校の屋内体育施設の耐震化や、吉川美南駅周辺地区の整備、時期の繰り延べをした東埼玉テクノポリスの拡張による産業基盤整備等であると考える。

## ◆保2区南からの公園請願に ついて市が積極的に動くべき

(問) 平成20年に出された請願についての取り組みは。

(答)都市建設部長 都市公園の設置については、誘致距離を踏まえると難しいことから、児童広場の設置について、自治会と協議。今後においても、面積や土地所有者の無償貸し付けの同意などの要件を満たした土地があれば積極的に位置づけをしていきたい。



南中学校体育館

# 常任委員会の審査から

12月7日、8日に各常任委員会に付託された議案の審査、9日に請願の審査が行われ、主な内容を各常任委員長が要約しています。

## 文教福祉

子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

子ども医療費の無料化年齢を15歳末まで引き上げることに伴い、拡大施行までの準備はどのようにするのかとの問いに、1月から3月に市ホームページや市広報紙を通じて市民の方々への周知を行い、4月には子ども医療費電算システム改修を経た後、新たに登録手続きが必要となる小・中学生のいる家庭に対し、申請書等を発送し、順次受付を行う。6月中には新たな資格証を発送し、7月からご利用いただくことになる。拡大に際し必要とされる事務費の見込みはとの問いに、おおよそ700万円程度見込んでいるとのこと。県内の実施状況はとの問いに、県内市で実施しているのが8市、平成22年度以降の拡大を予定しているのが5市であり、近隣市では越谷市及び三郷市が本年10月より15歳末までの拡大を実施しているとのこと。拡大が見込まれる児童・生徒数はとの問

いに、小・中学生6千524人が新たに対象となり、全体で1万1千365人を見込んでいるとの答弁。

賛成全員で可決。

一般会計補正予算

健康福祉部所管分では生活保護費が増えている特徴として、傷病や若い方の受給が多くなっているとのことであるが、医療費の中身としてどんなところが増えているのかの問いに、高額医療の方が増えている。前年度との比較で年間100万円以上の高額医療を受診されている方が6人から7人増えており、これに伴い全体の医療費も上がっているとのこと。生活保護受給者の年齢や家族構成の分析についての問いに、世帯類型として5つの分類を行っている。平成22年12月1日現在の世帯類型でみると、「高齢者世帯」が102世帯、「母子世帯」が21世帯、「障害者世帯」が21世帯、「傷病者世帯」が55世帯、以上4つの世帯に該当しない「その他の世帯」が40世帯であるとの答弁。

賛成全員で可決。

## 文教福祉視察レポート

市立小学校訪問

11月10日

今回訪問した学校は、午前中に中曽根小、関小、午後には北谷小、旭小の4校でした。訪問したそれぞれの学校長から、学校の様子などを細かに説明いただき、また要望等について参加した委員（5名）と意見交換をさせていただきました。

浦安市千鳥学校給食センター

12月20日

今回の視察は、当市の第一学校給食センターが老朽化し早期の建て替えが望まれていることから、安全でおいしい学校給食の提供を目指して、PFI方式で整備運営されている浦安市千鳥学校給食センターを委員13名（総務水道・文教福祉常任委員会合同）で視察してきました。整備事業導入までの経緯、取り組みの中での検証、評価、そして今後への課

しました。



電子黒板を活用！（旭小）

題等を説明いただきました。



千鳥学校給食センター調理室



# 総務水道

## 一般会計補正予算

南地区の市街化区域内農地の都市計画税負担率は、との質問に対し、市街化区域内の固定資産税は3分の1に軽減し、都市計画税は3分の2に軽減します、との答弁。

火葬場の利用率は、との質問に対し、平成21年度395名の死亡者のうち、越谷斎場での火葬件数は374件で94・7％式場利用は172件で

46％です、との答弁。

幼稚園就園奨励費補助金減額の理由は、との質問に対し、国の予算範囲内補助であり、基準額に対して圧縮率がかかるためです、との答弁。

市のバス運行管理委託業務の検討内容は、との質問に対し、市の直営、バスのみリース、民間への運行管理業務委託との経費シミュレーションを比較検討し、委託を選択。7年間で2千万円程度の削減効果があります、との答弁。  
**賛成全員で可決。**

## 水道事業会計補正予算

石綿管更新事業の進捗は、との質問に対し、平成25年度までに調整区域を終え30年度までに市街化区域を終える予定、約50億円の企業債を予定しています、との答弁。  
**賛成全員で可決。**

消費税の税率引き上げ反対を求める意見書の提出を求める請願  
各委員からの意見を聴取し賛成討論が1件ありました。  
**賛成少数により不採択。**

# 建設生活

## 市道の路線認定や工事の変更契約など5議案を可決

市道の路線認定及び廃止についての議案に関連し、吉川駅南特定土地区画整理事業地内及び「よこまちの杜」を視察。また、工事請負契約の変更についての議案に関連し、第一調整池内の修景施設を視察し、ワークショップで市民から出された意見に沿ったかたちに近づけるための変更で

ある旨の説明を受けた。

補正予算関連では、なますの里マラソンのコースになっている道路の補修3カ所及び下水道事業特別会計について審議した。  
**賛成全員で可決。**

## 通学路の安全確保を

通学路の整備に関する請願は、賛成全員で採択を決定。審議に先立ち現地を調査し、児童の通行中には自転車の通行さえ危険であると感じた、通学路の安全確保のため整備するべき等、委員全員から請

願の趣旨に賛同する意見が出された。  
**賛成全員で採択。**

## 建設生活視察レポート

### 埼玉型ほ場整備

#### 加須市柳生地区

11月4日

埼玉県では、埼玉型ほ場整備推進事業の実施地区として、吉川市を今年度事業を行う地区として選定しました。そこで当委員会では、11月4日に、その先導地である、加須市(旧

## 総務水道視察レポート

### 新三郷浄水場高度

#### 浄水処理事業

12月20日

三郷市南蓮沼の県営新三郷浄水場にて「高度浄水処理事業」について文教福祉常任委員会と合同行政視察を行いました。

初めに、場長より事業説明があり質疑応答の後、施設見学を行いました。県下初のオゾンと活性炭を利用した高度浄水処理システム

を学ぶ中、安心安全な水づくりへの熱意が伝わり、有意義な視察となりました。



オゾン接触池

北川辺柳生地区)に吉川市農業委員会委員の皆さまと合同視察を行いました。

当地区の概要や事業経過、予算等についての説明を受け、その後現場を見分いたしました。本事業については、米の生産性や仕事の効率性など素晴らしい成果が生じるのではないかと感じ、議会でも推進できればとの話も出されました。



加須市ほ場整備地区

# 審議結果

○=賛成、△=一部賛成、×=反対

## 平成22年 第5回臨時会

議案名	自民	共産	公明	改革	無所属
職員の給与に関する条例等の一部を改正	○	×	○	○	○
市長及び副市長の給与等に関する条例及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○

## 平成22年 第6回定例会

議案名	自民	共産	公明	改革	無所属
子ども医療費支給に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○
地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○
市民プール条例の一部を改正	○	○	○	○	○
埼玉県市町村総合事務組合の規約変更	○	○	○	○	○
埼玉県東部広域行政推進協議会の廃止	○	○	○	○	○
市道の路線認定及び廃止	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結	○	○	○	○	○
公平委員会委員の選任	全会一致 ○				
平成22年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○
平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○
平成22年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○
平成22年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○
平成22年度水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○
ヒブワクチンと肺炎球菌7価ワクチン接種の公費助成を求める請願	○	○	○	○	○
通学道路の整備に関する請願	○	○	○	○	○
「消費税の税率引き上げ反対を求める意見書」の提出を求める請願	×	○	×	×	×
70～74歳の医療費窓口1割負担を2割へ引き上げる厚労省方針の撤回を求める意見書	○	◎	×	×	×
住宅リフォーム助成制度に国の支援を求める意見書	×	◎	○	○	○
尖閣諸島をはじめとする我が国の領土領海を守る措置を求める意見書	○	×	×	△	◎
ヒトT細胞白血病毒ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書	○	○	◎	○	○

※自民=自由民主党吉川市議員団、共産=日本共産党吉川市議員団、公明=公明党吉川市議員団、改革=市民改革クラブ

### 表紙写真の説明

平成23年1月9日、中央公民館で平成23年成人式が行われ、403人の新成人が式典に出席しました。

※平成22年11月1日現在の対象者は603人でした。



### 議会広報研修会に参加

11月19日埼玉県町村議会議長会主催による議会広報研修会が開催され、広報委員が参加し、「よしかわ議会だより」のクリニックをはじめ、他市町の議会だよりについても講師から指導を受けました。

できることから改善していこうと、一致団結し、今後の議会だより発行へ向けて検討し、今回から改善に努めています。



## 編集後記

歴史的に残る猛暑の影響で野菜や鶏卵など値上がり、その反面県指定の米、彩のかがやきはじめ、品質は等級外が多く、生産者にとっては大変な年でした。市内の街路樹を見ると所々枯れていて猛暑の面影が残されており、その中で真冬に咲くさざんかが咲き誇り、心をなごませてくれる。鳩山政権から菅政権に代わって6ヵ月、仮免許から本免許発言後には、法人税5%値下げを閣議決定され、デフレ脱却や雇用の確保を目的に、財政再建や格差是正の観点から、所得税や相続税を見直し、環境税の導入など国民の負担を進めようとしています。景気回復につながるか先行きは不透明です。

鈴木 加蔵